

学校だより



市川市立平田小学校

～共に学ぶ 共に育つ 共に感動する そして共に幸せ～

いなほ
稲穂

学校教育目標

夢をもち、たくましく生きる
子どもの育成

No.11

令和4年9月2日

校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/hirata-sho>

押印、記名ともに心の表れ！丁寧をこころがけて

新型コロナウイルス感染拡大により、ある程度定着したテレワーク。一方、タブレットや電子黒板も使いこなせる子供たちの吸収力に驚きます。そして、在宅勤務や業務改善の視点から日本特有とも言える「ハンコ文化」に変化が生じて数年が過ぎます。

現在、学校には各種公印があります。四角い校長印や学校印、割印、銀行印など。6年生に手渡される卒業証書には大きな学校印と校長印の2つが押印されていることにお気づきでしょう。当然のことながら、私印も多く使われます。通知表配付の時期になると、指に豆ができるくらいの数を押印しました。その通知表は、今年度から全校で校長印や担任印の欄がなくなります。

先進国ではサインで事が足りませんが、未だハンコが実効力をもっている国は日本や台湾くらいではないかと言われます。紆余曲折があるものの、ハンコ文化は根強いものがあります。

それでは、日本のハンコ文化はいつからあるのでしょうか？歴史書の記述で最も古いのは、歴史の授業や教科書で見たことのある「漢委奴国王」の金印です。中国の『後漢書』「東夷伝」に、光武帝が金印を贈った旨が記されており、これが日本に現存する最も古い印章のようです。その後の経緯についてはぜひ調べてみてください。

さて、私たちが一般的に所有するハンコは、どれも丸いのが普通です。転がりやすい丸い印鑑よりも、角のある形のものが多く出回っていてもよさそうなものです。にもかかわらず、丸印が重用されるのには実はいくつかの説があることを知りました。

第1に、丸い方が外枠に欠けが生じにくいからという説です。実際、印鑑登録をする際は丸いハンコと決められているそうですし、銀行印なども陰影が外枠まで明確でないと再提出を求められることもあります。

第2の説は、縁起を担いでいるというものです。丸には「円満」とか「丸く収める」という意味に通じ、ハンコを押した後、契約なり売買なりがうまくいくことを願ってのことというものです。なるほどとうなずけます。

3つ目の説ですが、丸いハンコの場合は逆さまに押ししたり斜めになつたりしないように上下を確かめて押します。たとえ上下判別用の目印があっても、押すまでに少しの「間」ができますから、本当に押しでよいのかももう一度考える時間的猶予が与えられることとなります。押印するという行為は、責任をもつことであり、その人となりが見られるものですので、丁寧かつ慎重にありたいものです。



随分と昔の話になりますが、私が担任をしていた頃、テストに名前がないと零点※にしました。また、名前を雑に書くと減点の対象※にしたこともあります。当然、記名するというこの意味や責任、大切さを教えたかったからです。ところで、お子さんはテストなどに名前を丁寧に書いているでしょうか？私自身、ハンコもサインも見る人を意識して、丁寧を心がけたいと改めて思った次第です。

※ともに、記録簿には実際の点数を記録しましたのでご安心ください



なんでもない日常を素直に言葉にしてみませんか？

夏休み、校長室の机上にあった緑茶のペットボトル。じっくり見つめると、「日本、世界、No.1」と書かれています。緑茶飲料販売実績でギネス世界記録だそうです。そのパッケージの反対側には「伊藤園新俳句大賞」の作品が載っています。

俳句は、五・七・五の十七音からなる日本独特の定型詩で、季語を含まなければならないルールがあります。江戸時代には「俳諧」と呼ばれ、『奥の細道』で有名な松尾芭蕉などが活躍しました。庶民に広く流行していったのもこのころです。その後、明治の時代になって、古くからの形を新しい詩として蘇らせようと考えたのが正岡子規を中心にしたグループです。そして、「俳句」という名前を付けたものが今に継承されてきているのです。

では、伊藤園が毎年募集する「新俳句」とは何なのでしょう。説明には“「季語」などの俳句がもつ厳密なルールは問いません。季語がなくても、多少「字余り」「字足らず」であってもかまいません。感じたこと、思ったことを五・七・五のリズムに乗せて自由に表現する独自の表現方法は「俳句」ならぬ「新俳句」です。”とあります。

小学校でも短歌と俳句の学習をしますが、標語などにも使われるリズムなので低学年にも親しみやすいため、廊下の掲示で作品を見ることもしばしばあります。まさに「新俳句」なのでしょう。ただ、正直言うともっと相手に気持ちを伝える語彙を増やしたり、言葉を工夫したりしてほしいと感じることもあります。“うれしい”“楽しい”“悲しい”“きれい”“かっこいい”などの直接的な言葉ではなく、別の言葉を用いて自分の気持ちを伝えられたらもっと素敵だと思うのです。十七音の言葉から一枚の絵がイメージできるような作品に触れてみたい気がします。



平成元年から続く新俳句大賞。HPをみると過去の小学生の作品も見られます。その気になったら応募してみてもよいと思います。でもその前に、夏休みの思い出を絵に描くように1句2句…作ってみてはどうでしょう。メモ用紙でもよいので校長室に届けてもらえたら、掲示したり紹介したりします。大人の作品も大歓迎。というわけで、9月は「ひらた新俳句」を大募集!します。

最後に、「虫食い俳句」で少し遊んでみましょう。○に言葉（季語）を入れてみてください。

- *1 ○○○んぼ ハニカミながら 頭だす
- *2 太陽に 顔を合わせる ○○○よ
- *3 ○○をかる 風が吹いたら オーケストラ
- *4 ○○○○が 母の手を借り 七変化



1 柳の千と千太郎、みはなは、新 (トハク)
 2 のほの夏の花
 3 お米
 4 漢字二文字の句が冬の白野茶

《参考・引用》第33回伊藤園お〜いお茶 新俳句大賞HPより



「表彰します」



「今後の校外学習」

- 竹内杯サッカー大会
- Bブロック優勝 FC平田
- 春季ミニバスケットボール大会
- 準優勝 平田MBC

- ▼1年生 十月十四日(金) アンデルセン公園
- ▼2年生 十一月一日(火) 千葉市動物公園
- ▼3年生 十一月二十九日(火) 市内巡り
- ▼4年生 十二月六日(火) 房総のむら・航空博物館
- ▼5年生 十月二十六日(水) 森永製菓工場見学
- 一月十一日(水) 二泊
- ▼6年生 十一月七日(月) 一泊 日光修学旅行

※感染症等の状況により変更することがあります